

中学校

c1-1

正の数・負の数

(意味理解)

1 学年

【ねらい】

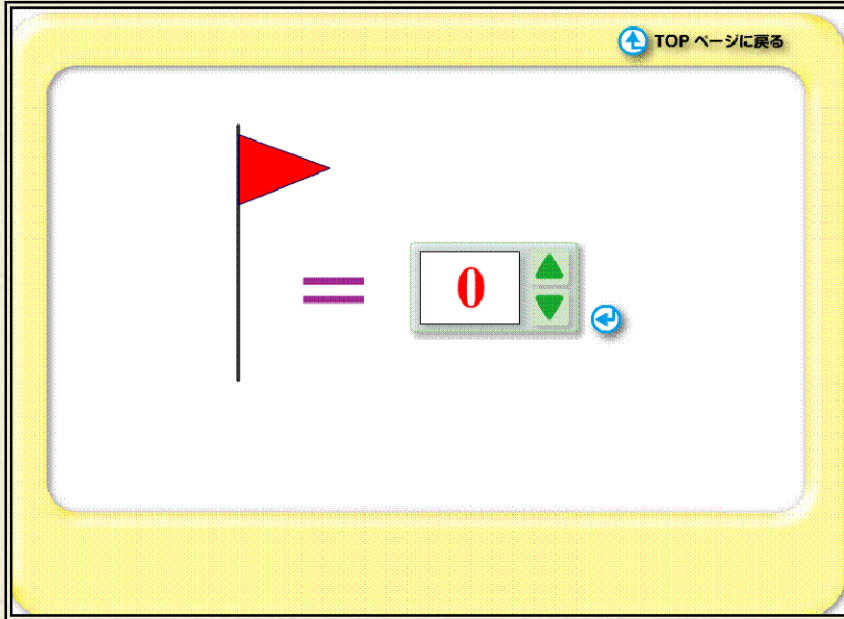
正の数と負の数の必要性と意味を理解する。

【特徴】

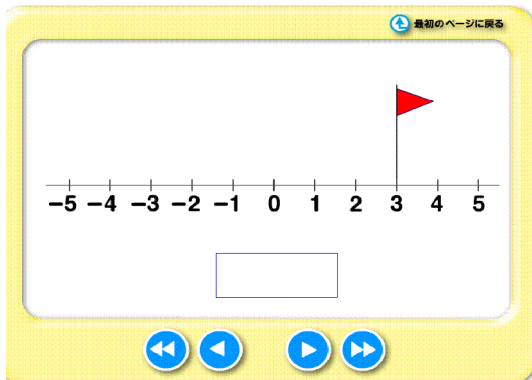
◇ -5 から+5 までの数直線上で、正の数と負の数の並び方を学習します。また、0.5 単位での移動が可能なので、計算という活動につながります。

【関連する単元】

◇ 中学1年「正の数と負の数の計算」

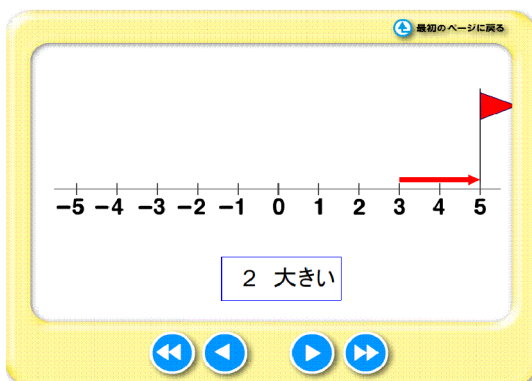


【活用場面】 導入段階の課題提示、数学的活動の後の検証、知識・技能の定着



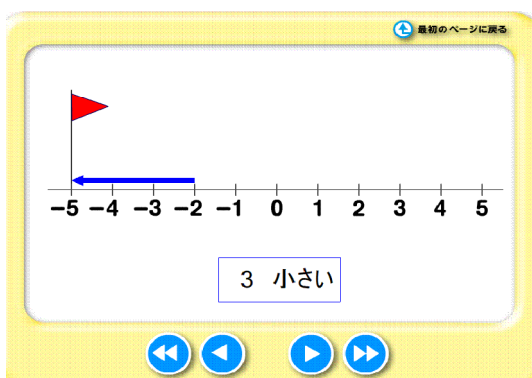
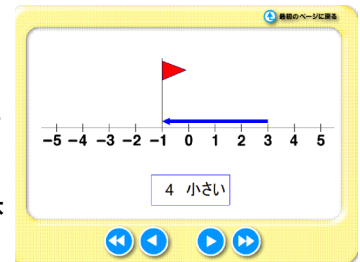
具体的な数値をとって数直線上の位置を確かめることができます

- ◇ 「最初のページ」で数値を入力します。
- ◇ ▲ や ▼ のキーをクリックすることで-5 から+5 までの整数を決定します。(例は 3)
- ◇ -5 から+5 までの整数の数直線上の位置を示します。
- ◇ 「最初のページに戻る」で数値を変えると、他の数値でも確認できます。



0.5 単位で旗を移動させることができます

- ◇ ▶ は 1 単位、▶▶ は 0.5 単位で旗を移動させるボタンです。左右に移動させることができます。
- ◇ 例では、3 から右へ 2 つ移動したことを示します。3+2 という計算につながります。
- ◇ 左に移動させると、答えが負の数になる計算を示すこともできます。(右の図)
- ◇ 「0」から始めた場合は、原点からの距離を示すこともできます。



正負を行き来することで整数の並び方を理解、確認することができます

- ◇ 負の数から始めることにより、負の数と負の数の和は、より原点から離れていく感覚を養うことができます。
- ◇ また、負の数から正の方向へ動いた場合は、旗が点が、絶対値の差で表される確認にもなります。

